

「大学入試合格後の過ごし方を考える(2)」

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

先週に引き続いて、大学や短大、専門学校の入試に合格してから、入学式までの過ごし方についてお話をします。

2. 専門分野についての予備的な学習を心掛けよう

- ①できるだけ大きな本屋さん、できれば進学する大学等の書店に出掛け、進学する学部についての「入門書」を購入。サブノートをつくりながら丁寧に読了すること。もしできれば、基本的な事項は「定着」つまり覚え込んでから入学式を迎えることをお勧めします。
- ②入試が済み、履修する科目が決まったら、1日も早く教科書や資料集を買い込み、1科目でも多く、ゴールデンウィークまでにサブノートをつくり一通り読み終えることが大学高校等教育機関での勉強を進める上での「コツ」です。
- ③家で購読している新聞の中で、進学する学問領域についての記事があったら、家族に承諾を得て「切り取る」こと、それをノートに貼り付け整理し続ける癖を身につけることもよい勉強となります。
- ④前回もお話ししましたが、英字新聞を2月から家で購読しはじめ、進学する学問領域の記事があったら切り取り、ノートに貼り付けスクラップするくせを身につけることも大切です。
辞書を使ってとことん書いてある内容について理解を深めること。内容を自分なり英語でまとめてみる。それを何も見ないで言えるまでにすること。このような学習の習慣を身につけてから進学し、大学等の高等教育機関にいる間中継続することをお勧めします。
- ⑤この春休みに自分の選んだ学問分野について小さな旅行に出かけることも面白い。例えば国際関係を勉強するのなら、東京の青山学院大学の前にある「国際連合大学」United Nations Universityを訪れることをお勧めします。ILO やユニセフ、国連難民高等弁務事務所など数多くの国際連合の機関が入っています。国際経済を勉強したいのなら、世界銀行の東京事務所や OECD(経済協力開発機構)の東京事務所など必見です。(どれでもホームページで検索して受け入れ担当者の許

可を得てから訪問して下さい。)又、法学部に進学する人は、近くの警察署に行き、日本の警察制度の特徴を勉強したり、交番に行きお巡りさんの1日を勉強することをお勧めします。近くにある裁判所に行き、裁判を傍聴することをお勧めします。刑事裁判、民事裁判ともに自由に傍聴できます。但し、裁判の傍聴者の心得を必ず守って下さい。おしゃべりや録音、メモをとったりすることは禁じられていますので、注意して下さい。更に、有罪判決があり刑が確定すると刑務所に行ったり、執行猶予期間中保護観察になりますので、折りにふれ刑務所見学や近くの保護司の方とお会いになり、実態をお聴きすることをお勧めします。

⑥インターネットのホームページでこれから進学する分野についての情報を取り始めると限りない知への喜びすら生まれます。

3. おわりに

①どのように入学までの時間を過ごすか、どのように大学の4年間を過ごすかは全く自由です。しかし、せっかく貴重な期間を受験勉強に費やし、又、大変な経済的負担を保護者の皆様をお願いをして進学するのですから進学前であろうと一瞬も時間を無駄にすることなく、今お話ししたような準備をなさって入学式を迎えられますように希望します。

(2003年2月3日記)